

# 牛込二中だより



令和6年度No.3 令和6年6月5日  
発行 新宿区立牛込第二中学校  
校長 松澤 亮  
HP <http://www.shinjuku.ed.jp/jh-ushigome2>

【教育目標】 自ら学び、考え、行動する人 思いやりと責任感のある人 健康で心豊かな人

## 伝統の運動会

5月25日に運動会が開催されました。校庭工事の関係で、新宿コズミックセンター大体育室をお借りしたため、初めての屋内での運動会でした。

もちろん、校庭で思い切り走る運動会を希望する声もありました。それでも生徒たちは、どんなときも主体的に楽しむ牛込二中生らしさを発揮し、思い出に残る運動会を作り上げることができました。

伝統というのは形式のことではありません。これまでの運動会へのリスペクトをもちつつ、さらにリスペクトしたいのは牛込二中生の心の伝統である、どんなときも主体的に楽しむことです。

牛込二中生のみなさん、伝統を引き継いでくれてありがとう。ダブルダッチや〇人〇脚で仲間とたたえ合ったり、係活動に走り回ったりする様子は、とてもすがすがしいものでした。できなかったことを悔やむより、できることを全力で楽しむ。君たちの姿からそんなことを学びました。



地域からお借りしたはっぴを誇らしげに着てソーランを踊りました。

## いじめを絶対に許さない



ほめ合い、たたえ合う姿が牛込二中の本質です。

牛込二中の合言葉はリスペクトです。人も自分も同じように大切にしようとする姿勢のことです。この正反対にあるのが「いじめ」です。いじめ防止対策推進法という法律を知っていますか。この法律の第四条には「いじめを行ってはならない」という条文があります。いじめは法によって禁じられているのです。

人へのリスペクトをもたず、法に反する「いじめ」を、私は絶対に許しません。どんな理由もいじめていい理由にはならないからです。

「いじめ」を行うと、相手の心や体を傷つけるだけでなく、自分自身も痛い思いをすることを知っていますか。最初はあつたはずの良心がどんどんすり減り、人を傷つけたり、自分を傷つけたりすることに抵抗がなくなっていくます。いじめによって警察の捜査や、裁判にまで発展するケースもあります。

自分の言葉が、行いが、人を傷つけ、いじめになっていないか、よく考えてください。いじめを見かけたら、教えてください。みんなの力で、いじめをなくしましょう。

繰り返します。私は、牛込二中は、いじめを絶対に許しません。

牛込二中ホームページです。  
新しい情報やお知らせなど、こちらを通じて連絡いたします。



「新・校長日記」は、週に2,3回程度更新しております。今回の学校だよりは、試験的にすぐーるでも送信します。

